

# 一蓮



【第175号】  
仙台立華読書会

## 『修身教授録』 第19講 「松陰先生の片鱗」

内容抄録・七頁参照

### 「松陰先生の魂」

深堀 二三四

吉田松陰の『留魂録』は、遺書の一つと考えられる。薄葉半紙を四つ折にし、十九面に細書きにしてコヨリで綴じ五千字を冊子にした。

考えるに牢の中で、処刑を目前に控えよく書き残したものである。それだけ死を冷静にとらえた松陰に感心する。私なら何も出来ず、只うろたえるのみである。

『留魂録』の書き出しは、  
身はたとひ 武蔵の野辺に

読書会 (184回)  
平成24年  
12月8日

(参加者)  
大場 美枝 澤口 司  
加藤 秀夫 河内 宏  
熊谷 政直 菊田 信

朽ぬとも 留置まし 大和魂

十月念五日 二十一回猛士

である。実際に松陰の毛筆の文字を見ると、十五カ条に分けて書き、書き出しは丁寧であるが、次第に走り書きや乱れた文字も見られ、松陰の気持や感情が感じられる。

最初に気付くのは、孟子の「至誠」を信念としていて、それが刑死を招いたと考える。

次に、「僕は生まれつき激烈な性質で、怒罵されるとすぐにかつとしてしまうほうだ。だから、務めて世間の流儀に従って、人情に逆らわないように努力しているのだ」(訳)と言っているところから見ると、幼い時から学問や修行をして、まわりの人々に優しくしようと努力していた



吉田松陰

と考える。  
松陰に数日間のみ師事した入江杉蔵に「死を覚悟してお出でなさい」(訳)と言ったことを書いているが、明日の死を冷静に納得している証拠である。別の所でも「あえて一死を惜しむものではない」(訳)と言っていることからその覚悟を学びたい。それは、「僕が平素に学問から得た力がそうさせているのである」と述べている。  
果して私の場合どうか？浅学非才の身では、一寸の事でも眠れない日が多い。恥ずかしいことだがしかたがない。

松陰の覚悟はどこから出ているのか？  
「今日死を決する安心は四時の順環に於て得る所あり」と幼時の体験から順順と考えて述べていると思われる。「十歳にして死する者は、十歳中自ら四時あり、二十は自ら二十の四時あり。三十は自ら三十の四時あり。・・・」と、百歳でも四時あることを述べ、その一生の中で、春夏秋冬の四季があると言う。

思うに、喜寿を迎え順々に考えれば、今は冬季である。しかし、考えるに成長もし、また実りもしたが、それがいいのであるか、十分に実の入った穂であるかは私の知ると

ころではない。私の考えや思いを受けついでやろうという人は、何人いるだろうか？一人でもおれば、私がこの世に生まれた価値があると思う。即ち、しいなでなく実の入った種であるよう願ひ冬を過ぎたい。  
今の世は、すばらしいこともあるが、決して安心できる世ではない。松陰は「天下の事総べて天命に付せんのみ」と言う。今になると我が命を唯々天命に任せるのみである。(千九八五〇〇四二)

塩釜市玉川三丁目二一五

### 「松陰先生の片鱗に思う」

加藤 秀夫

ここでは松陰の偉さということで、その資性のやさしさを取り上げています。松陰先生の、そのお弟子さんたちに対するお言葉が、非常にいいものであったこと、いかなる人へも穏やかに優しくあったことは大いに学ばされることです。

松陰先生に「士規七則」の辞はあまりにも有名ですが、この七則は先生の従弟であ

る玉木彦介、名は弘の成人に当り、「一字を毅甫の説」をつくり贈られたとのことです。その原文をここに付してみます。

#### 士規七則 毅甫の加冠に贈る

冊子を披繙せば、嘉言林の如く、躍々として人に迫る。願ふに人讀まず。即し讀むとも行はず。苟に讀みて之れを行はば、則ち千萬世と雖も得て盡すべからず。噫、復た何をか言はん。然りと雖も、知る所ありて、言はざること能はずは、人の至情なり。古人これを古に言ひ、今我れこれを今に言ふ、亦何ぞ傷まん。士規七則を作る。

一、凡そ生まれて人たらば、宜しく人の禽獸に異る所以を知るべし。蓋し人には五倫あり、而して君臣父子を最も大なりと為す。故に人の人たる所以は忠孝を本と為す。

一、凡そ皇國に生まれては、宜しく吾が宇内に響き所以を知るべし。蓋し皇朝は萬葉一統にして、邦国の士夫世々禄位を襲ぐ。人君民を養いて、以て祖業を續ぎた

まひ、臣民君に忠して、以て父志を継ぐ。君臣一體、忠孝一致、唯だ吾が國を然りと為す。

一、士の道は義より大なるはなし。義は勇に因りて行はれ、勇は義によりて長ず。  
一、士の行は質實欺かざるを以て要と為し、功詐過を文るを以て恥と為す。光明正大、皆是より出ず。

一、人古今に通ぜず、聖賢を師とせずんば則ち鄙夫のみ。読書尚友は君子の事なり。  
一、徳を成し材を達するには、師恩友益多きに居り。故に君子は交游を慎む。

一、死して後已む(死而後已)の四字は言簡にして義廣し。堅忍果決、確乎として抜くべからざるものは、是を舍きて術なきなり。  
右士規七則、約して三端と為す。曰く、

「志を立てて以て萬事の源と為す。交を擇びて以て仁義の行を輔く。書を讀みて聖賢の訓を稽ふ」と。士苟にここに得ることあらば、亦以て成人と為すべし。

(千九八一―二〇二) 名取市美田園一丁目八―一 第一一二―三

(六頁より)それからだいぶ経ったある日、私が「単に照れているだけで、人との付き合いが不器用なんだ」と信じ込んでいたその人に、仕事場での会議中、他の人々の前で怒鳴られ、「もっと真面目に勉強してこい! 甘ったれるじゃない!」

ヒエーと、跳び上がりました。その人に指摘されたことはまんざらの外れではありませんでした。甘ったれていたつもりは無いけれど、怠けていたのは事実かもしれない。しかし、その人とはすでに仲良くなっていたつもりだったので、そこまで憎々しげな怒鳴られることになろうとは思ってもいなかったのです。その後、その人とはギクシャクしたまま、気楽に口がきける関係に戻れることはできませんでした。

この事件は、私にとってちよつとしたトラウマになりましたが、今ではいい教訓になっています。愛想良く近づいていけば、誰だって自分に好意的になってくれると思うのは間違った信仰であり、同時に驕りであるということ学びました。

なんだ、じゃあ愛想良くする必要はないんだ、なんて思わないで下さいね。そういうことを言っているのではないのですが、

つまりペースや段取りや心構えを無視して、一方的に自分のリズムを押しつけると、人によっては喜ぶどころか、むしろ警戒する場面があると言ったことです。

愛想にもいろいろな種類があると思われる。元気がいっぱい愛想。静かな愛想。ちよつとフェロモン入りの愛想。一見無愛想な愛想……

小説家の渡辺淳一さんに初めてインタビュをしたときは怖かった。「初めまして。本日はよろしく願います」と私が名刺を出して頭を下げたとき、渡辺さんは「ああ」と答えるだけで、なんともひどくめんどうくさそう。ああ、きつとこの対談に気乗りがしていらいしやらないんだなあと、その時点でまじうろたえます。するとそばに控えていらした渡辺さんの秘書嬢が、バックの中を探り、どうやら私に渡すべき名刺を探しているらしいのですが、なかなか見つからない。とうとう、

「先生、先生。お名刺、お持ちでないですか」と渡辺先生が一言。

「ない」  
そのあつさりとした言い方を聞いて、私は

そのまま帰りたくなりました。

帰るわけにもいかず、そして対談は始まったのですが、小さい声ながら渡辺さんは私の拙い質問に思いの外、丁寧に答えて下さいました。ひとまずホツとしつつ、でも恐怖はまだぬぐえません。

渡辺さんは講演をなさるときも、最初は決してにこやかとは言い難い。壇上に立ち、マイクに向かうや、いつも声は小さめで笑顔はほとんどない。観客は一樣に不安顔です。椅子の背から身体を離し、少々前のめりになってコトの成り行きを見守ろうと構えている。そこへ、

「離婚というのはね、互いに忙しければ、しない。暇なときにあれこれ余計なことを考えるから離婚するんです。だいたい芸能人の離婚は、たまの休みがあつたあとに決まることが多いね」

なんて話をされるので、観客は思わずガハハと笑ってしまいます。

人にはそれぞれの愛想の作り方というものがあるようです。そしてそれほどに、人によって初対面の人の前での構え方が違うことをよく承知しておかないと、スタート地点で失態を演じる危険があります。(了)

## 【スポットライト・人間だから】

## 阿川佐和子物語

書店に行くと、いろんな本が山積みになされている。その中、2012年の年間ベストセラーは『聞く力』で、100万部を突破しているという。著者はテレビでお馴染みの阿川佐和子さん。誰もが異口同音に語るの「阿川さんに初めて会っても、初めての気がしない」ことである。

過日のテレビ放送で阿川さんと盲目ピアニスト辻伸行さんの対談があつた。勿論辻さんは阿川さんの顔は目で見ることはできないのであるが、阿川さんの「どんな女性のタイプがお好みですか」の質問に「阿川さんのような方が好きです」と応えていた。そしたら阿川さん「おや、おや、私はあなたのお母さんより上なですよ」と、とぎまぎ様子で返していた。

『聞く力』の裏扉に「頑固オヤジから普通の小学生まで、つい本音を語ってしまうのはなぜか」とある。それをイチロー対談で紹介する。これはネットにある対談で、イチロー選手が本音で語っているのだ。

○年俸について

イ・もつとすごいのはベツカムでしょう。

阿・ベツカムにいけますか。

イ・あれはすごいですよ。5年で300億円とかですから。

阿・とんでもない。

イ・メジャーリーグ・サッカーですよ。

阿・フフフ。

イ・どういうことなんでしようね、あれは。

さ・え? どういうことって何ですか。

イ・ええ

阿・なんでベツカムの話になったんだっけ?

イ・いや、だから年俸の話になったからですよ。上には上があるみたいなの。

○イチローは初の日本人打者として海を渡つた。当時のアメリカでの評価は。  
イ・そもそも野球をこいつは出来るのか? という空気ですね。

阿・ア!

イ・マリナーズは大金をドブに捨てたようなものだ。と言う人もいましたからね。僕の最初をみて。

阿・ア!

イ・それは それはちよつとへこみましたね。

阿・へこんだんですか? どういうへこみ?

イ・ちよつとね。

阿・遠路はるばる来たのにつて。

イ・その評価にへこんだんじゃないかと、それじゃ「なんで見る目がないんだ」というへこみですね。

阿・あつ、そういう意味のへこみ? なんだ。

イ・そう。

阿・なんだ。

イ・できちゃうからボク、みたいな感じで、ちよつと相手を哀れに感じましたね。

阿・「見ている!」という感じですかね。このシーズン。

イ・「見てる」という感じではなかったですけどね。「まあ見ていただければ……」

阿・フフフ いやな感じだけれど。

イ・見てろ! というね 阿川さん。

阿・はい。

イ・ちよつと余裕ない感じをしないですか。必死こいでる感じじゃないですか。まあ見ていただいで。

阿・フフフ いやな感じだけれど。

イ・見てろ! というね 阿川さん。

阿・はい。

イ・ちよつと余裕ない感じをしないですか。必死こいでる感じじゃないですか。まあ見ていただいで。

阿・フフフ いやな感じだけれど。

イ・見てろ! というね 阿川さん。

阿・はい。

阿・あっ、そうか。なるほどね。イチロー  
ーダンディズム その1ね。  
イ・そういうことですね。  
阿・イチロー選手が打者としてという  
ことは、これはさすがにメジャーで生  
き残れるのだろうか。そういう評判が  
りましたでしょ。

イ・ありましたね。そもそも生き残れるじ  
やなくて。  
阿・ああ、どうも スイマセンデシタ。  
イ・通用するかどうか 生き残れるかとか、  
そういう次元でボク考えていないんで  
す。トップに行けるかどうかですから。  
それが問題と。

阿・最初っから？  
イ・そりゃそうですよ。  
阿・行った時から？  
イ・レギュラーとって毎日試合に出る事じ  
やないんです。ヒットを誰よりも打っ  
て、ゴールドをとってそれを続けるこ  
としか、アメリカに出てきたことを証  
明することが出来ないんだと思ってい  
たので。そういう通用する？ やめて  
くれて。君はステージに上がってこ  
ない。入り口っていうか 会場にも君

は入れません。整理券はもらったけれど。  
阿・やっぱりね、でも・・・  
イ・今はね、ボケ(時差)ているのでちよっ  
と。多少の突っ込みがね。阿川さん。欲  
しいところでは・・・あるんですけども。  
阿・いっぱい いっぱいなの 私も。  
イ・ほんとにね。 キュートな感じで大好き  
なんですけど、ボクも。

○王監督との関係  
イ・これは運命だと感じたのですね。  
阿・ホー。  
イ・ただ後で聞いた話ですけどね。ボクみた  
いなタイプは王監督は嫌いなんだそうで  
すよ。

阿・ど どうして どこからの情報なんです  
よ、それは？  
イ・いやいや。  
阿・なんで？  
イ・ボクみたいなタイプで、イチローが嫌い  
だと言っているわけじゃないですけどね。  
タイプのね。  
阿・どういうタイプなんですか。  
イ・感情も出さない。喜ぶ うれしい時も 苦  
しい時も 辛い時も出さないじゃないで

すか。  
阿・ウ ウ 顔色変えない。  
イ・で、意外と「これをやれ」と言われた  
ら器用にやってしまう。人が10時間  
20時間かゝるものが、ボクなんか5  
分くらいできてしまう。そういう  
タイプが大嫌いなんだって。  
阿・はあ、王監督が？  
イ・だから、王監督はボクのことを ひよ  
っとして(WBCチームに)呼びたく  
なかつたんじゃないかな・・・本当は  
ね。でも、それも王監督はおさえてね  
「自分は嫌いだけれども、イチローみ  
たいなタイプは」

阿・エエエエ「王監督の好きな好みのタ  
イプになるんだわ！」って、そして、  
ああいう事になったのね。  
イ・「なるんだわ！」じゃないですよ。  
阿・フフフ さっきから もう本当に！  
イ・そ、そ、そ、  
阿・なるぞ！  
イ・なるぞ！  
阿・なるぞ！  
イ・いや 全然違うですけどね、それが。  
阿・あっ、ちがうんですか。

イ・それは なるうとするとなれないんじ  
やないですか。  
阿・へー。

イ・それは嘘になるから ボク うそ嫌い  
なんです。嘘つきますよ、でも、た  
まには。  
阿・なんだよ、それは。

イ・それは 何かになりたい。なるうとす  
るものが先に来た場合 ボクは出来な  
いと思う。  
阿・はあ、ん。

イ・自分が感じたままにしよう。それで何  
かが伝わったら最高なんです。だから  
使命感から何か行動をおこしたことは  
ない。

○WBCからイチローのイメージが変わっ  
た。クールなイチローが感情をむき出し  
にした。しかし自分自身のプレイの時だ  
けは表情を変えなかった。なぜなのか。  
阿・あのダンディズムっていうのはなぜな  
んですか？  
イ・そこだけイチローでいたかった。  
阿・はあ、ん

イ・俺を崩したら、みんな冷めるよね、と  
いうのがボクの。どんなことも変わっ  
たと思われてもいい。でもそこだけは  
変わらないことが重要だと思ってい  
たんです。

阿・アメリカに負けて、韓国に負けて、そ  
こで激しく怒った。でもそこまで図っ  
て、もちろん図ったことはなかったと  
思いますけどね。  
イ・多少図ったところもあるんですけどね。  
阿・え？

イ・確かにある。  
阿・それは何ですか  
イ・それは言わないですけどね。 想像の  
世界は大事ですからね。全てね、明か  
してしまうのはつまらなさってあるじ  
やないですか。  
阿・え え

イ・こう秘める感じって、いいじゃないで  
すか。  
阿・ウ ウ。  
イ・ボク 大好きなんで。  
阿・何言ってるか、わかんないよ。  
イ・考えないんですよ。

【阿川佐和子流「聞く力」 161頁】

初対面の人に近づこうと思うとき、皆さん  
は、どうしますか。  
しばらく相手の行動を観察して、こちらに  
危害を加えそうにない動物だとわかってから  
動き出す慎重派もいるでしょう。積極的に自  
分から声をかけ、単刀直入に「仲良くなるう」  
という意志を伝える人もいます。ある  
いは、相手が動くまでこちらの意思は見せな  
いようにする人がいるかもしれません。  
私は、いつ頃からそうしているかは覚えて  
いませんが、だいたいの場合、二番目のタイ  
プに近い。つまり、ことさら愛想良くさえし  
ていけば、たいいていの人は機嫌良くなつてく  
れるはずだと信じておりました。

ところがあるとき、新しい仕事場で、新し  
い仲間との親睦会において、見知らぬ人たち  
と仲良くしなければならぬ場面に出くわし  
た。そして私がいつも通り、よりによってそ  
の人々の中でもいちばん、人見知りと思われ  
る人のそばに近づいていって、根掘り葉掘り  
質問したり、からかったのです。すると、そ  
の日は気付かなかったのですが、どうやら私  
のそういう押しつけがましい態度が、気に入  
らなかったらしい。

【抄録】『修身教授録』

第19講「松陰先生の片鱗」

○穏やかで優しい先生

松陰先生は今日、ともすればいわゆる志士とい概念によつて、非常に厳しい方で、うっかりすれば怒鳴りつけられそうなきびしい方というふうを考えられているようですが、事實はまるで違うようです。先鋭の國を思われる一筋の心は何ものもこれを阻むことはできず、またいかなる権力もこれを妨げ得なかつたのでありますが、しかし先生は単に強いばかり、厳しいばかりの方ではなかつたようであります。とくに生徒に対しては実に穏やかであつて、かつて先生に大声で叱られた者がないということを通じて直接当時の門弟の人々から語り伝えられているということでもあります。

本心に偉い方というものは、そうみだりに声を荒げて、生徒や門弟を叱られるものではないのです。第一その必要がなからうと思ふのです。真に偉大な人格であつたらば、何ら叱らずとも門弟たちは心から悦服するばかりであります。

○偉大な教育家

それというのも、真に優れた師匠といふものは、門弟たちを遇するのに、単なる門弟扱いをしてはいないからでしょう。常にその門弟の人々を共に道を歩むものとして扱つて、決して相手を見下ろすということをしていないのであります。そこには傲慢といふものが生まれて来ます。

ただ同じ道を、数歩遅れてくるものといふ考えが、その根本にあるだけです。ですから、自分一人が山の頂上に腰を下ろして、あとから登つてくる者たちを眼下に見下ろして「何を一体ぐずぐずしているのか」といふような態度ではないのです。

それ故もし教師にして、真に限りなく自らの道を求めて已まないならば、自分もまた生徒たちと共に歩んでいる一人の求道者にすぎないという自覚が生ずるはずであります。

この根本態度の確立している者にして、初めて真の教育者であり、古今の偉大なる教育家は、他の点はいかにもあれ、少なくともこの根本の一点においては、みなその軌を一つしていると言つてよいでしょう。

○天真を悟る

そもそも人間というものは、その人が偉くなるほど、しだいに自分の愚かさや気付くと共に、他の人の真価がしだいに分かつてくるものであります。そして人間各自、その心の底には、それぞれ一箇の「天真」を宿していることが分かつてくるのであります。

天真に二、三はなく、万人すべて等しいのであります。ただその本姓の開發の程度いかんによつて、そこにそれぞれ独自の趣を發揮してくるわけでありませう。それ故ひとたびこの点があつたりしたならば、いかなる者にも穏やかに優しくかついていねいに対せずにはいられなくてはなりません。

諸君！真に剛に徹しようとしたら、すべてからく柔に徹すべきである。教育ということとは、今さら申すまでもなく、魂の問題であります。それ故魂をあつかうところの教育問題は、至柔至優の魂を持つものでなくては、真に解くことはできないはずであります。

「虎の猛を師と為す」

菊田 信

今回の学びは「松陰先生の片鱗」である。ここでは松陰先生は「優しい先生」となつてゐる(七頁参照)。しかし、ここで学ぶのはその「優しい先生」ではない。

安政六年(1859)十月二十七日、吉田松陰は斬首された。三十歳である。松陰は二日前の二十五日(念五日)に『留魂録』を書きとどめた。その中に「二十一回猛士」とある。これは松陰が自分でつけた名前であるが、その意味するところは次の如くである。

吾庚寅の年(天保元年)を以て杉家に生まれ、已に長じて吉田家を嗣ぐ。甲寅の年(安政元年)罪ありて獄に下る。夢に神人あり、與ふるに一刺を以てす。文に曰く、二十一回猛士と。忽ち覺む。因て思ふに杉の字は二十一の象あり(十、八、三)、吉田の字も亦二十一回の象あり(吉の十、一と田の十で二十一、田の口と吉の口で回)。吾が名は寅、寅は虎に屬す。虎の徳は猛なり。吾卑微にして孱弱、虎の猛を以て師と為すに非ざれば、安んぞ士たるを得ん。吾生来事に臨み猛を為すこと凡

そ三たびなり。而して或は罪を獲(東北遊の亡命)、或は謗を取り(上申書提出)、今は則ち獄に下り(下田踏海)復た為すあること能はず。而も猛の未だ遂げざる者尚十

八回あり。其の責も亦重し。神人蓋し其の日に益々孱弱日に益々卑微にして終に其の遂ぐる能はざらんことを懼る。故に天意を以て之を啓くのみ。然らば則ち吾の志を蓄へ氣を并する、豈に已むこと得んや。(玖村敏雄著『吉田松陰』)

ここで学ぶところは玖村先生の次の言葉である。

これから後、松陰は二十一回猛士の別号を持ち得るようになったのであるが、まことに、自ら叱咤鞭撻猛進奮闘寸分の隙もなく到る處に独自の境を開拓して行つた生命の一筋なる緊張はこの人の眞骨頭であつて、これが結局に於てその生涯を神聖なるものと成した了したのである。(同掲書)

松陰先生にして自分は卑微(地位が卑賤であり、低くして取るに足りない)にして孱弱(弱い、無氣力、懦弱)の身と語る。しかし、事に臨んで「虎の猛を以て師と為す」。ここに私は学ぶのである。

実践人 仙台立華読書会

(設立 平成九年四月六日)

○趣 旨 森信三先生の教えを学び実践する

○開催日 第一または第二日曜日

午前九時三十分より正午まで

○会場 多賀城市文化センター

〒985-0873

多賀城市中央二丁目二七一

○電話 022-368-0131

○テキスト 森信三先生著書を主とする

当分は『修身教授録』(致知出版)

○会 費 一、〇〇〇円(運営費)

「一蓮」第一七五号

平成二十五年一月五日発行

〒九八三〇〇一三

仙台市宮城野区中野字大貝沼二〇一七

立華幼稚園内 菊田 信

電話

022-259-0526(幼稚園)

022-258-2286(自宅)

E-mail ichiren@cream.plala.or.jp